

サーバー設置不要！
いつ・どこからでも
手軽に入退管理！

すべてのドアや出入口をクラウドで一元管理！

トビラ
アクセスコントロールシステム 『TOBIRA』 のご紹介

電気錠ドア、自動扉、
開き戸・引き戸、
各種ゲートにも！

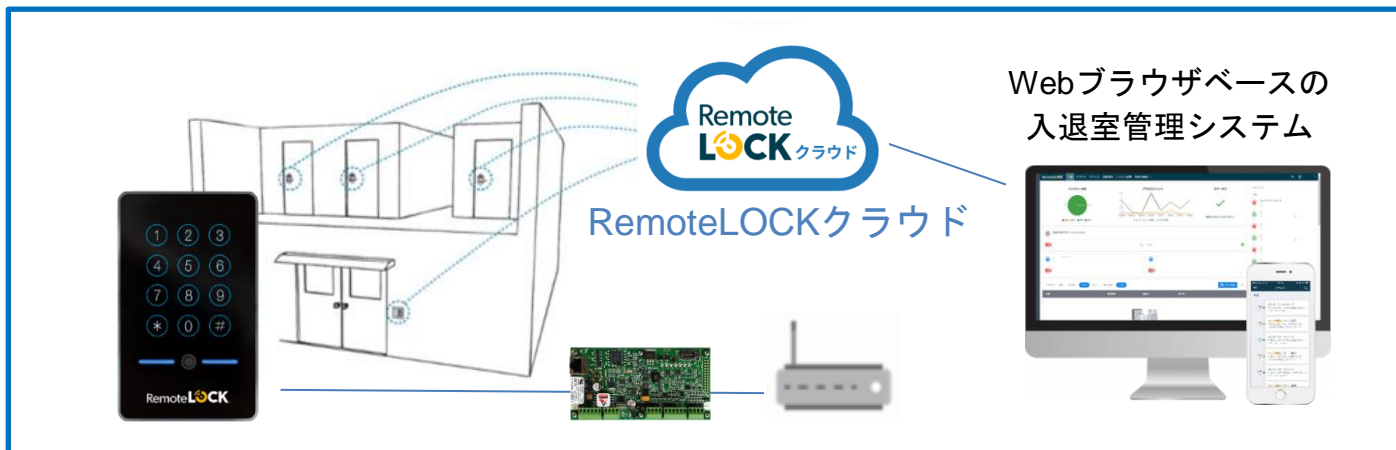
1日10万組以上の入室を管理する
クラウド入退室管理システム

RemoteLOCKシリーズ
リモートロック



トビラ アクセスコントロールシステム『TOBIRA』とは？

「TOBIRA」は既設の電気錠や自動扉に 後付けできる「クラウド型入退室管理システム」です。



① クラウド管理



人も施設も
一括クラウド管理

多数の入室者、多数のドア
いつでもWEB管理。

② 拡張性



APIでシステム拡張も
自由自在

自社の業務システムや
外部サービスと連動可能。

③ 柔軟運用



テンキーや2次元コードなど
多様な認証方法

用途や運用に合わせた
最適な認証方法が選べる。

④ 後付け導入



今ある電気錠や自動扉に
後付けで導入

既設のドアやゲートを
手軽にクラウド管理化。

従来のオンプレミスでの入退室管理の課題



- 施設ごとに分離した管理
- 自社施設内に専用PCやサーバ設置
- 継続的なメンテナンスや現地対応



TOBIRAを使った
クラウド管理なら！



① クラウド管理

「離れた場所から」でも「複数拠点」でも！管理はラクラク！

- 複数の拠点と入室者の一元管理！管理者の負担を大幅に軽減
- 管理に必要なのはWEBだけ！オンラインでいつ・どこからでも管理可能に
- 管理システムは常に自動でアップデート！定期的なメンテナンスも不要

入室権限の発行・削除・変更
入退室履歴の閲覧



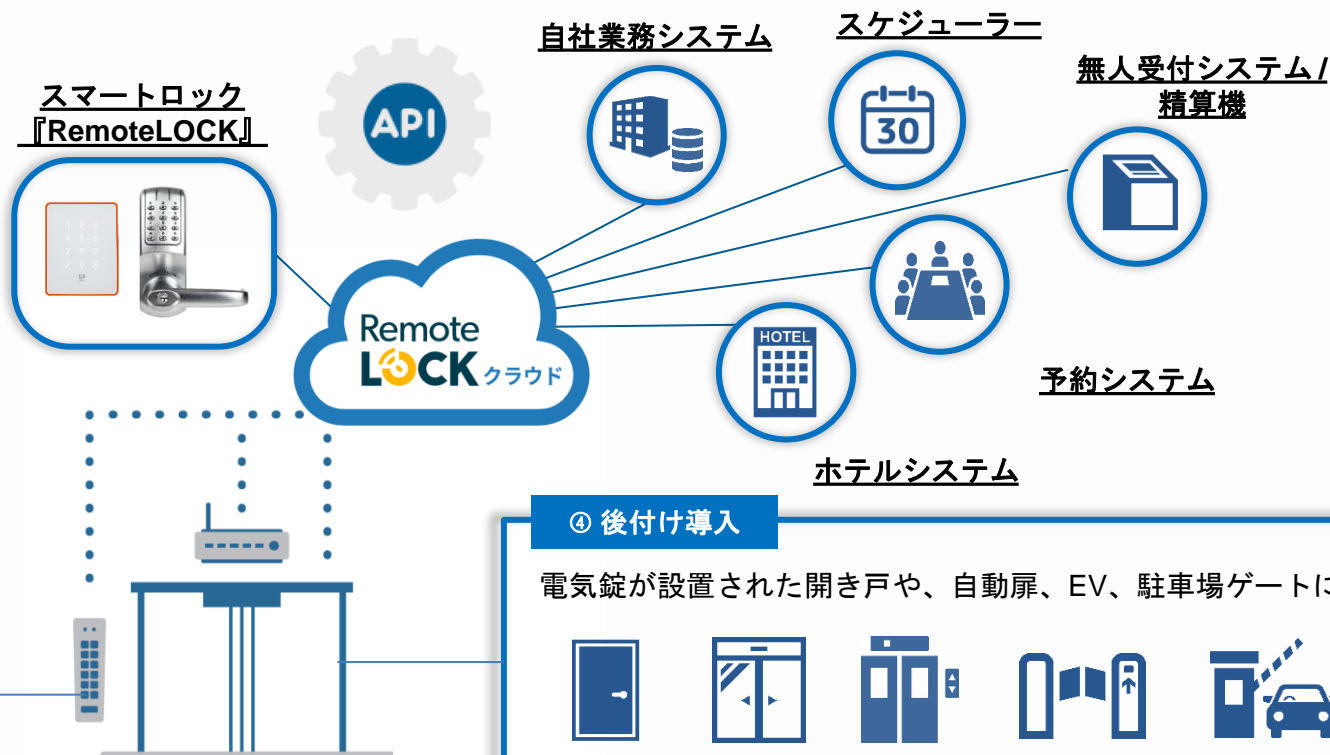
② 拡張性

「入退室管理」×「○○」が空間利活用の可能性を高める

APIを通じて外部システムとの連動。予約や受付などの他のシステムと組み合わせることで、空きスペースを活用した新たなビジネスを創出することや、入室者にとっても利便性の高い空間提供に貢献。

③ 柔軟運用

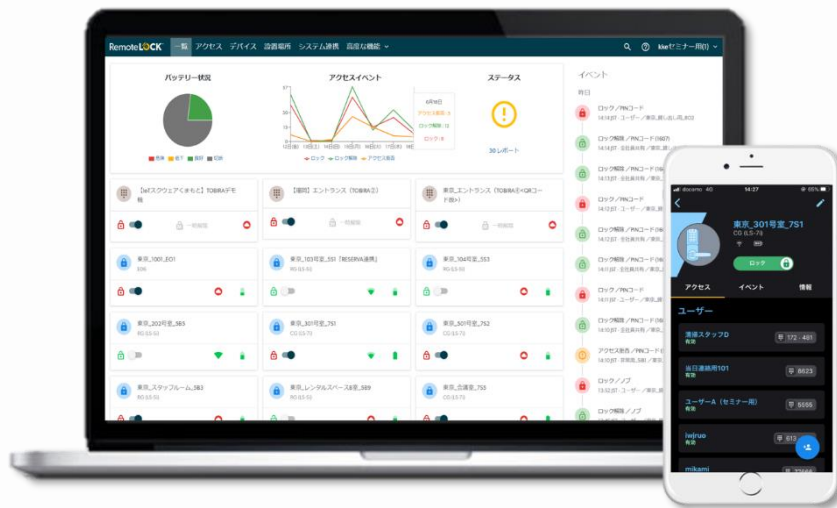
解錠は暗証番号、ICカード、2次元コードのほか、顔認証との連動も。



④ 後付け導入

電気錠が設置された開き戸や、自動扉、EV、駐車場ゲートにも。





最大10,000人分の鍵発行

スタッフ、予約者、会員など個人ごとに任意の空間への入室権限を作成。

解錠タイプは暗証番号（4~10桁）および、ICカードもしくはQRコード情報を登録可能。

鍵の有効期間の作成

一時的な入室者には解錠できる期間を日時や曜日で限定。

入退室履歴

入室と退室の履歴を一覧で表示。誰が、いつ、どこに出入りしたのかを自動記録。CSV保存も可能。

遠隔解錠・スケジュール

WEBや専用の管理アプリからリアルタイムに遠隔解錠。予め設定した曜日・時刻に自動解錠。

ホテル



- 夜間はエントランスの自動ドアを常時施錠して無人・省人で運営したい
- 夜間の解錠用にエントランスの鍵をゲストにも共有したい
- 客室とエントランスの鍵を一元管理したい

店舗 / 貸しスペース



- 物販、アパレル、スポーツジム、サロンなどを無人で運営したい
- 予約システムと連動させて利用時間だけ使える鍵を自動発行したい
- 利用者にとっての空間利用の利便性を高めたい

オフィス

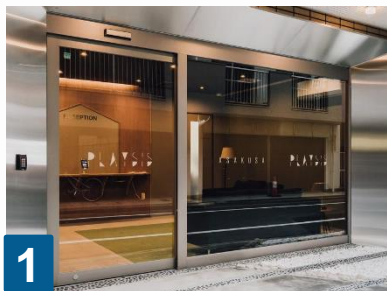


- 在宅やテレワーク環境から手軽に入退室管理したい
- 既存の自動扉やゲート（電気錠）に入退室管理システムを後付け導入したい
- 社員の雇用形態、業者、ゲストなど入室者に合わせたセキュリティを設けたい

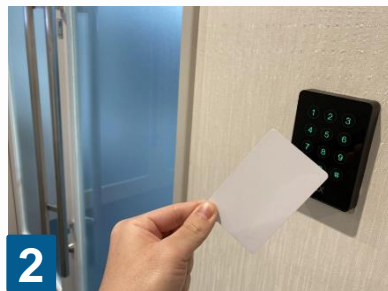
★ 設置予定の扉が開き戸であり退室履歴の取得やリアルタイムな遠隔施錠を要さない場合はスマートロック『RemoteLOCK』がおすすめです。

★ TOBIRAを活用したオフィスの入退室管理は『RemoteLOCK OfficeUP』にて詳しくご紹介しております。

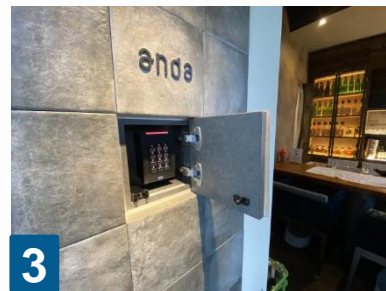
- 1 『ホテル』のエントランスの夜間施錠に。客室の鍵と連動しての運用も
- 2 『オフィス』の入退室管理に。入退室履歴の取得や手軽な権限発行・削除を
- 3 『会員制店舗』のセキュリティ対策に。スタッフや会員のみ入店可能
- 4 『レンタルスペース/コワーキングスペース』の利用履歴の把握に。マーケティングデータとしての活用にも
- 5 『事務所』における来訪者対応に。遠隔からドアを解錠
- 6 『屋外ゲート』
- 7 『駐車場』の運営に。予約者や契約者にのみ入場権限を発行



1

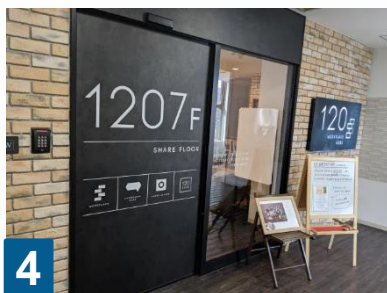


2



3

屋内の各種扉だけでなく
屋外ゲートの管理にも
おすすめ！！



4



5



6



7

『SMART HOTEL Kutchan』

株式会社FULLCOMMISSION
様



目的：無人・省人化 / 導入箇所：ホテル入口

夜間スタッフの代わりにTOBIRAでセキュリティ強化

課題

- ・ 築25年ほどのビジネスホテルをリノベーションしてリニューアルオープン
- ・ 人材不足のなか夜間スタッフの雇用が難しく、深夜業務は人件費も高騰

解決策

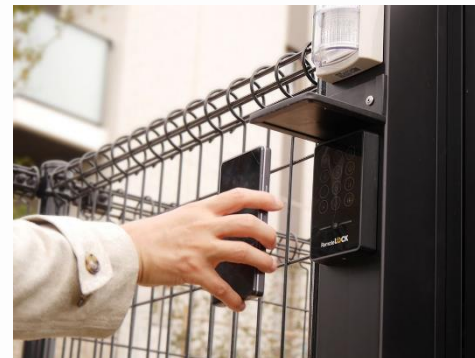
- ・ 深夜帯はエントランスの自動扉を施錠。ゲストは事前に受け取った暗証番号で自動扉を解錠
- ・ 客室には『RemoteLOCK』を採用。エントランスと客室の鍵の暗証番号は自動同期

効果

- ・ エントランスの施錠によりセキュリティを保ちつつ無人運営できるようになった
- ・ 夜間対応のためのスタッフ雇用、シフト作成が不要になり、人件費削減を実現した

『Pet'sOne ペッツワン』

株式会社カインズ 様



目的：空間利活用の利便性向上 / 導入箇所：屋外ゲート

ドッグランの入口をスマホで解錠。予約連動により利便性も向上

課題

- ・ 2020年11月にオープンした「カインズ朝露店」
- ・ ドッグランの利便性を高めることができるデジタル化施策を検討

解決策

- ・ 自社の予約システムとAPI連携を行い、予約ごとに解錠用の2次元コードを自動発行
- ・ 予約者は2次元コードを認証リーダーにかざして解錠

効果

- ・ 初回以降はカウンターへ立ち寄る必要なく、より手軽に利用できるようになった
- ・ 無断利用の防止や利用状況も簡単に把握できる状態になった

『百貨店 A社』



※写真はイメージです

目的：アクセス管理の効率化 / 導入箇所：従業員通用口

一時的な入館をオンラインで対応。多拠点を一元管理。

課題

- ・ 店舗応援で一時的に出入りするスタッフや、業者が多い
- ・ 入館履歴は紙に記入して保存。警備員による目視での確認に手間とコストがかかっている

解決策

- ・ 一時的な入館者には有効期限付きの暗証番号もしくは2次元コードをPCやスマホから発行
- ・ 「いつ」「誰が」「どこに」出入りしたかという入退室履歴はクラウド上に自動で保存

効果

- ・ 入館時チェックや記録の手間の低減とそれに伴う人件費を削減
- ・ 入退室履歴の自動保存により情報セキュリティを強化

UDS 株式会社 様

目的：空間利活用の利便性向上

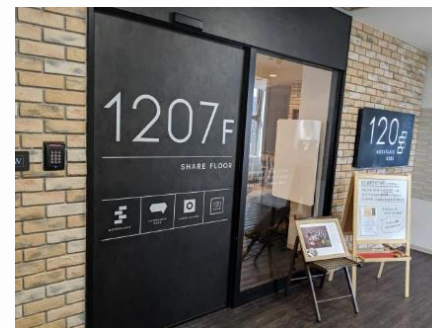
- ・ワークスペース、スタジオ、宿泊を融合した複合施設
- ・時間予約に合わせてオンラインから鍵発行



株式会社神戸新聞社 様

目的：セキュリティの強化

- ・レンタルオフィス併設のコワーキングスペース
- ・スケジュール設定により日中は常時解放、夜間は常時施錠



株式会社東急コミュニティー 様

目的：他システムとの連携

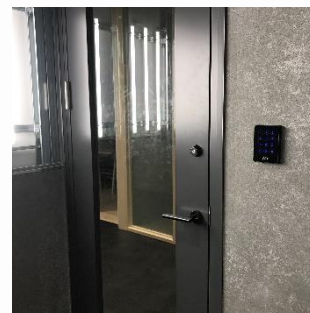
- ・研修施設の入口自動扉に後付けで顔認証×TOBIRAを導入
- ・社員は顔認証、研修者は有効期限付きの暗証番号で解錠



株式会社構造計画研究所（当社事例）

目的：多拠点管理

- ・拠点の追加や社員ごとの鍵の追加・削除はクラウドで簡単に
- ・社員は自分の暗証番号で各拠点を解錠することも可能



TOBIRAのクラウド管理画面のイメージ①

アクセス画面：解錠権限をもつ入室者の一覧を表示
解錠権限をもつ入室者（ユーザー / ゲスト）の追加

RemoteLOCK 一覧 アクセス デバイス 設置場所 システム連携 高度な機能

東京セミナールーム（入室側）

ロック 一時解除

タイプ 全て ユーザー ゲスト

アクセスユーザー追加 アクセスゲスト追加

名前	認証情報	開始日	終了日
ゲストB	PINコード: 8079	2020年3月 06日 15:00	2020年8月 31日 10:00
ゲストA	PINコード: 7738	2020年3月 06日 15:00	2021年6月 30日 10:00
玉田	PINコード: 1218		
池田	PINコード: 0224		

ゲスト

アクセスゲスト追加

基本情報

▼入室者のメールアドレス (暗証番号をメール送付可能)

名前

メール

開始日

2020-03-11 03:00 PM

終了日

2020-03-11 10:00 AM

▼入室できる期間の指定

ドアアクセス

設置場所

ドアグループ

各カギ

デバイス

東京_1001_EB1

アクセススケジュール

認証情報

▼ICカード or 2次元コードの番号 ▼4-10桁の暗証番号

ICカード番号

448881

お知らせ機能

なし

初回ロック解除時のみ通知

ロック解除毎に通知

キャンセル 作成

一時利用者向け
ゲスト

常時利用者向け
ユーザー

入室者ごとに解錠権限を付与

入室できる期間 (= 解錠権限が有効な期間) の指定も可能

入室者と認証情報の追加

TOBIRAのクラウド管理画面のイメージ②

イベント画面：解錠時刻、入室者などの履歴を表示

RemoteLOCK 一覧 アクセス デバイス 設置場所 システム連携 高度な機能 ▾ 🔍 ⓘ kkeセミナー用(1) ▾

< 戻る 東京セミナールーム (入室側) 最終接続時間 11:02 AM (12 秒前)

ロック 一時解除

- アクセス
- イベント **イベント**
- 設定
- お知らせ機能
- お知らせ履歴
- 利用方法 (メール通知用)

イベント日時	情報元	イベントタイプ	操作方法
2020年3月10日 11:02 JST	清掃者	アクセス拒否	PINコード (3697)
2020年3月10日 11:00 JST	デバイス	ロック	オートロック
2020年3月10日 11:00 JST	ゲストC (年契約)	ロック解除	PINコード (3615)
2020年3月10日 10:57 JST	デバイス	ロック	オートロック
2020年3月10日 10:57 JST	澤田	ロック解除	PINコード (0834)
2020年3月10日 10:56 JST	デバイス	ロック	オートロック
2020年3月10日 10:56 JST	Bさん	ロック解除	PINコード (9648)



レポート








↓ 検索結果をCSV出力

履歴をCSV出力

誰がいつ解錠したか等の履歴

入室 (解錠) を管理者にメール通知することも可能

／ その他、充実した様々な機能が施設管理を更にスマートに！ ／

 <p>認証権限の作成や履歴の確認は WEBブラウザで</p>	<p>10,000名まで</p>  <p>個人ごとに異なる 権限発行、フロア制限</p>	 <p>管理者 24h</p> <p>常時認証可能な 権限発行</p>	 <p>来訪者・業者</p> <p>有効期限付きの権限発行 (●月×日▲:▼~●月×日▲:▼)</p>
 <p>権限をメール通知 (即時・スケジュール)</p>	 <p>認証権限の一括登録/ 入退室履歴のCSV出力</p>	 <p>Aさん:XXXXX Bさん:△△△</p> <p>グルーピングによる入室権限の 一括割当/共用口との権限連動</p>	 <p>指定した時間帯に オートロック※有効化・無効化</p>
 <p>指定した時刻に 自動施錠・解錠</p>	 <p>顔認証、番号、カード他、 多様な認証方法</p>	 <p>災害時は電気錠の パニックオープンに連動</p>	 <p>認証可能な曜日と時間帯を制限 / 認証不可日の指定</p>
 <p>入室、不正アクセスを管理者に メールでお知らせ</p>	 <p>ドアオープン感知</p>	 <p>API連携</p>	 <p>火災報知器連動</p>

RemoteLOCK

- ・ Wi-Fi接続でクラウド管理
- ・ クラウドで発行する暗証番号で解錠
- ・ 入室履歴を自動取得

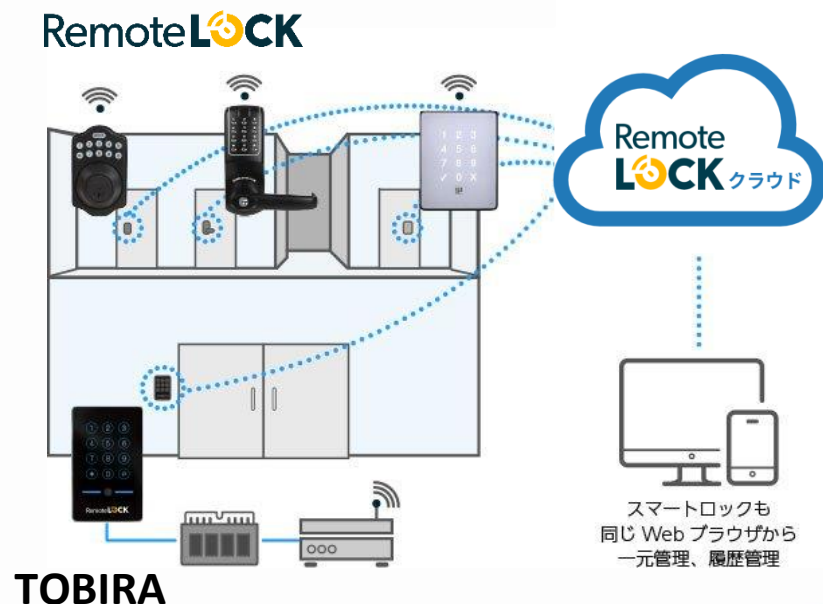


★リモートロックの詳細情報は[こちら](#)

客室や施設の開き戸、裏口などにRemoteLOCKを取り付けると、部屋ごとの細かいアクセスもクラウドから一元管理ができます。

TOBIRAが設置された自動扉やゲートとRemoteLOCKは暗証番号の自動同期も可能です。

入口にはTOBIRA、中の各部屋にはRemoteLOCKを導入することで、利用者は自分が使う部屋と同じ暗証番号で入口の解錠ができます。

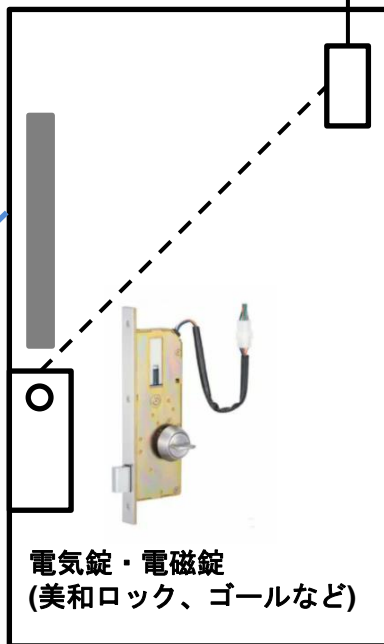
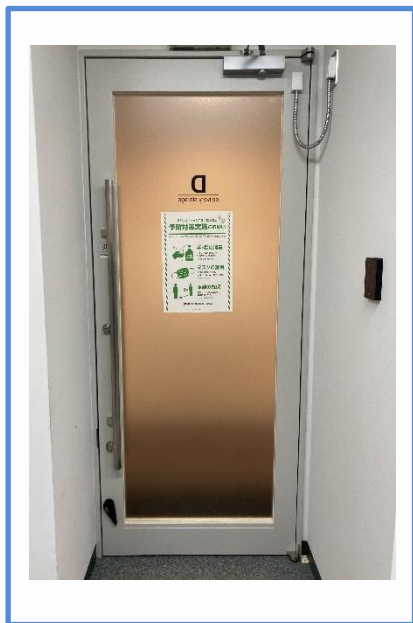


■認証リーダー→TOBIRA

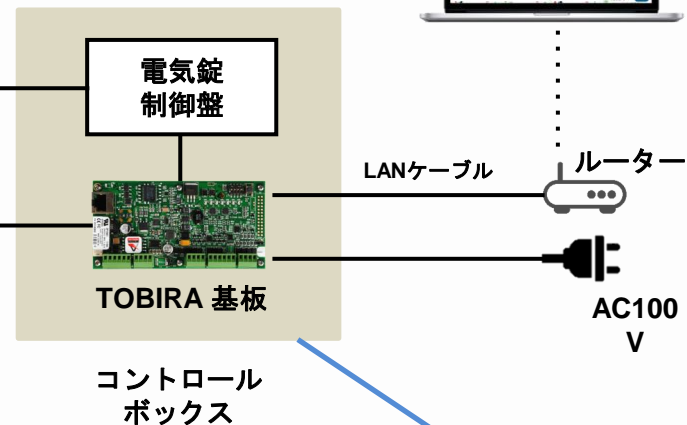
認証した情報が管理システム上で有効な情報かどうかを判定

■TOBIRA→電気錠制御盤

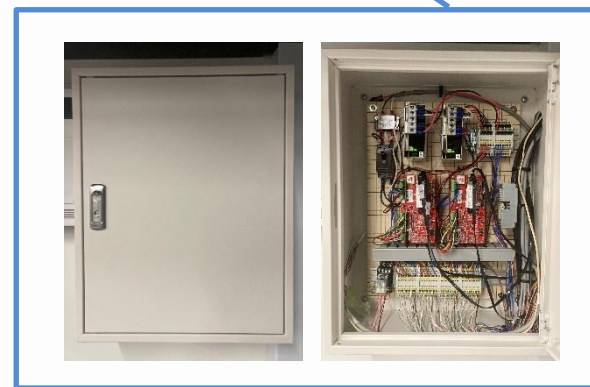
管理システム上で有効な情報である場合、解錠の信号を出す



電気錠・電磁錠
(美和ロック、ゴールなど)



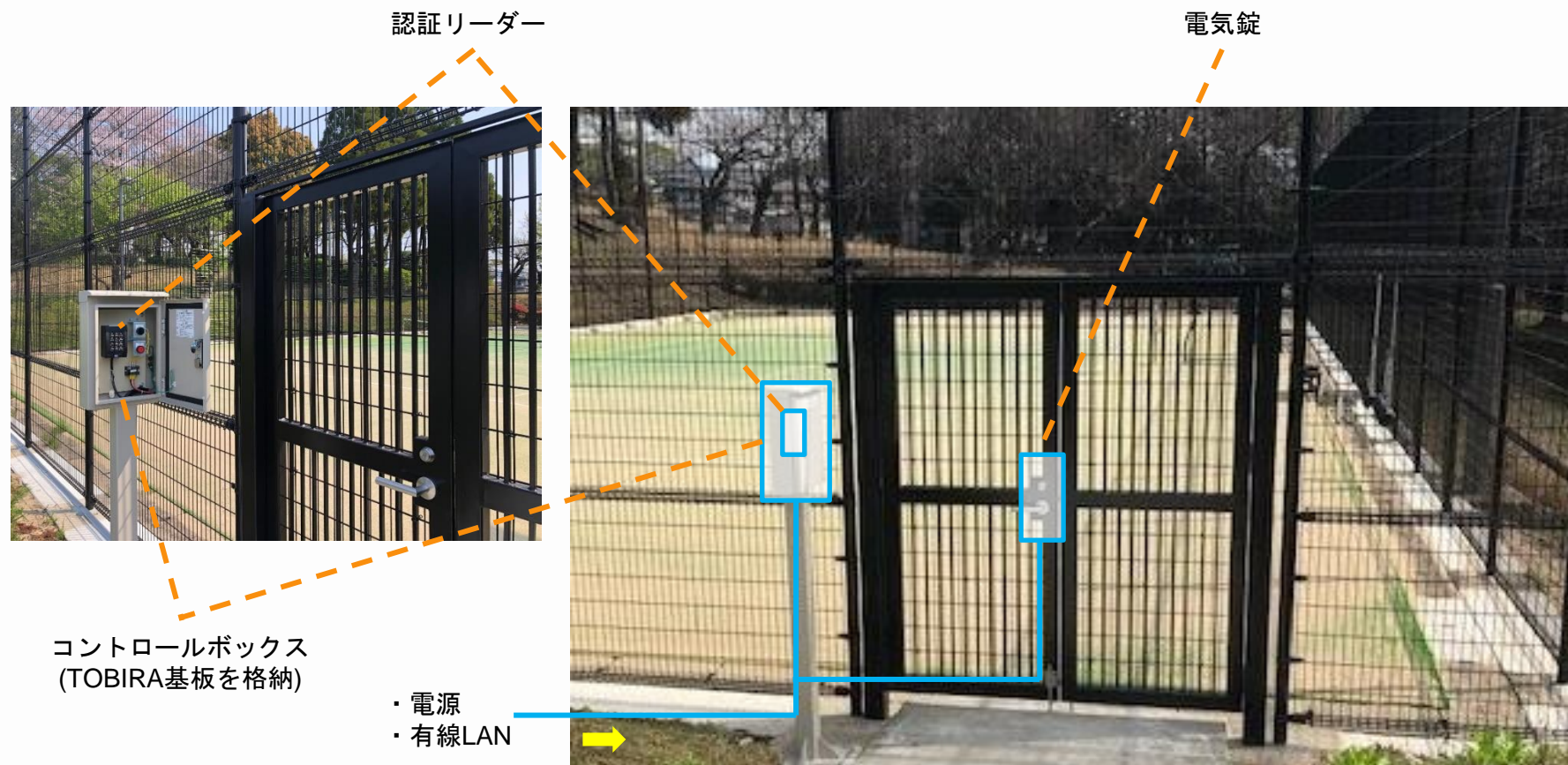
認証リーダー



管理システム

※電気錠の写真はイメージです
※設置方法については別途打ち合わせが必要です

弊社が運営・管理するテニスコートではTOBIRAを利用したアクセス管理を行っています。
配線は建屋からコントロールボックスまで地中配線で敷設しています。



ご提供機器

■TOBIRA基板



■認証リーダー

テンキー / カード / QRコード

テンキー / カード

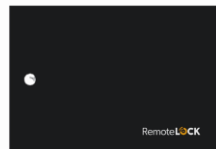


or



※認証リーダーは上記以外にご選択いただくことも可能です
※リーダーのデザインは予告なく変更となる場合があります
※ICカードはFeliCaカードもしくはEMカードのどちらかです
Mifareカードは別途ご相談ください

■コントロールボックス



■その他工事雑材・副資材

設置物件にてご準備が必要な機器・設備



or



■電気錠・電磁錠が 設置された扉

■自動扉

※電気錠が設置されていない扉の場合は電気錠も含めたご提案が可能です
※上記以外の場所への設置はご相談ください

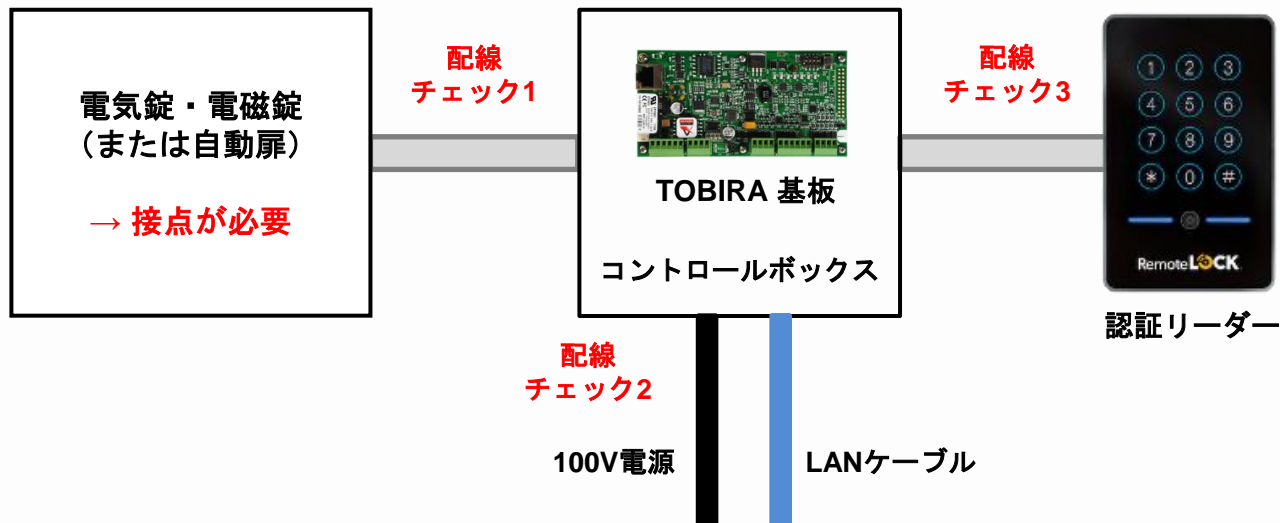
■ルーター（インターネット回線）



■AC電源100V



そのほかの要件や配線については次ページをご確認ください▶



TOBIRA設置に必要な配線をお客様側にてご準備いただく必要があります。
以下、電気錠制御盤（または自動扉エンジン）と配線について、お客様側にてご提供可能なことをご確認ください。

■電気錠制御盤（または自動扉エンジン）

外部接点があること（TOBIRA 基板と接続します）

■配線

1. 電気錠からコントロールボックスまでの配管
2. コントロールボックス設置場所へ100V電源及びLANケーブル(インターネット接続)の配線
3. コントロールボックスから新たに設置するテンキーへ配線できる配管

1扉あたりのTOBIRA導入・運用費用

初期費用

■機器一式

50万円～



その他工事雑材、副資材など

※設置環境によって異なります。
※詳細な費用は設置場所の図面や写真、または現地調査およびお打合せによりお見積りいたします。

■設置工事・機器設定

40万円～

※設置環境によって異なります。
※詳細な費用は設置場所の図面や写真、または現地調査およびお打合せによりお見積りいたします。

ランニング費用

■システム利用料（月額費用）

お問い合わせ

STEP1 お問い合わせ

まずはRemoteLOCKセールス窓口までお気軽にお問い合わせください。
用途やご想定の運用についてヒアリングののちに最適なソリューションをご提案します。

TEL : 050-1807-1888 (平日9:00-17:00)

MAIL : remotelock@kke.co.jp

WEB : <https://remotelock.kke.co.jp/contact/>

STEP2 専任パートナーのご紹介

専任のパートナー会社にて設置環境のより詳しいヒアリングや現場ご担当者様とのお打合せを経て、機器一式および工事費用のお見積りをご提示します。

STEP3 設置工事、システムのご契約

機器一式、設置工事は専任のパートナーに直接ご発注いただき、施工日程の調整となります。設置後、WEB上で管理システムをご契約（アカウント作成）ください。

■ 屋外での利用は可能ですか

屋外のゲート（P.14参照）や駐車場ゲートへの設置事例もあります。

■ 対応可能な電気錠や自動扉は決まっていますか

電気錠制御盤、自動ドアのエンジン部に接点を有していることが要件です。メーカーや機器に指定や推奨品はございません。

■ 火災報知器や警備システムとの連動は可能ですか

火災報知器の作動とともに自動扉や電気錠を開放することや、警備システムの作動中は認証リーダーを無効化することが可能です。

■ 利用中に有線LANの接続ができなくなったらどうなりますか

すでに登録されている解錠権限（暗証番号やICカードなど）についてはそのままご利用いただけます。新規の解錠権限の発行、履歴情報の取得、遠隔からの施解錠はできなくなります。

■ 停電時はどうなりますか

停電時には認証リーダーは利用できなくなります。停電時の動作（「施錠する」「停電直前の状態を保持する」「解錠する」）は利用される電気錠や自動扉によって異なります。利用される電気錠や自動扉のメーカー様にお問い合わせください。

■ お見積りの際に何か必要な情報はありますか

以下の情報をご連絡ください。

1. 物件図面（TOBIRAを導入したい扉の位置と、すでに電気錠など導入済みの場合は制御盤の位置に印をお願いいたします）
2. TOBIRAを導入したい扉の数（RemotelOCKも合わせて導入したい場合は機種と台数）
3. 物件住所、工事名称
4. 新築物件／既存物件
5. 電気工事依頼なし（貴社で懇意にされているところを手配、弊社パートナーは設定・指示だし）／依頼あり（弊社パートナーにまとめて依頼）
6. 見積書の宛名

大学、研究機関と実業界をブリッジするデザイン&エンジニアリング企業として、社会のあらゆる問題を解決し、「次世代の社会構築・制度設計」の促進に貢献する

会社名	株式会社構造計画研究所
設立日	1959年5月6日
代表執行役社長	渡邊 太門
資本金	10億1020万円
従業員数	636名（※2022年4月1日時点）
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場

建設・



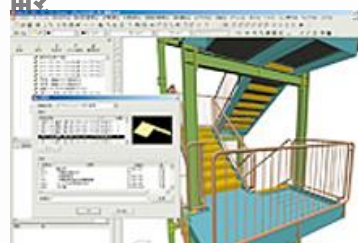
- 熊本城の修復(1960年代)
- 超高層建築・大規模特殊構造物
- 防災コンサルティング

情報通信分



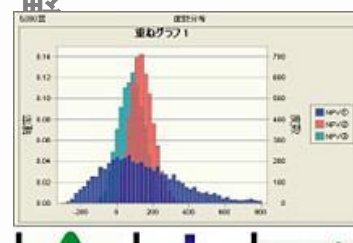
- ソフトウェアの受託開発
- 電波伝搬シミュレーション

製造分



- 生産・物流シミュレーション
- 仕様設計支援

意思決定支援分



- リスク分析シミュレーション
- マルチエージェントシミュレーション

管理者と入室者の双方に 安心・簡単・便利を提供

Remote LOCK™



経営者・スマートロック利用者選ばれて
スマートロック部門No.1

TRIPLE AWARD
3冠受賞

JCR
ビジネス向け
No.1

JCR
使いやすさ
No.1

JCR
機能充実度
No.1

安心

01



簡単

02



便利

03



株式会社構造計画研究所

RemoteLOCKセールス窓口

TEL : 050-1807-1888 (平日9:00-17:00)

MAIL : remotelock@kke.co.jp

WEB : <https://remotelock.kke.co.jp/contact/>

手頃なコストと設置方法の入室管理なら配線や電源工事不要のスマートロックもおすすめです。詳細はこちらから▼

Wi-Fi型スマートロック

『RemoteLOCKリモートロック』の
資料請求はこちらをクリック



調査実施先: 日本コンシューマーリサーチ 調査期間: 2020年11月16日~11月18日 調査対象者: 経営者またはスマートロック利用者 547名

調査概要: スマートロックを取り扱う10社を対象としたブランドイメージ調査 調査方法: インターネット調査